

# 宗門校トピックス



## 進学支援制度創設へ

### ヤングケアラーを対象に

身延山大



進学を諦める生徒への支援を始める身延山大

日蓮宗門校の身延山 大(山梨県身延町)は、ヤングケアラーや児童福祉施設入所者に対する進学支援制度を新年度の4月から創設する。進学しなくてもできない子ども

近年ヤングケアラーが社会問題として取り上げられることが増えた。家事や家族の世話、介護、親に障害や病気、薬物等の問題があったり、日本語が話せない家族のために通訳したりと、ヤングケアラーの状況は個々に異なる。こうしたことを踏まえて身延山大は、ヤングケアラーに該当すると認められた学生にまず奨

学金を支給することに検討していく。同大は「社会に対する奉仕・貢献」を教育理念とし、仏教思想を基盤に「身延山久遠寺では社会福祉施設、病院、学校を運営することで、仏の慈悲を具現化してきた。一口にヤングケアラーと言っても抱える状況は多岐にわたる。試行錯誤の

「臨床宗教師・傾聴士の挑戦」

龍大世界仏教文化研 120人が視聴し、谷山近未来」と題した講演会後、学校や事務所など臨

## 新たな領域開拓を

龍大世界仏教文化研シンポ

龍大世界仏教文化研 120人が視聴し、谷山近未来」と題した講演会後、学校や事務所など臨

臨床宗教師の現状と病棟」や在宅ケア等の分野で活躍している。今

現在、臨床宗教師の多くは、研修生らが新型コロナウイルスの感染防止策の協力を得ながら新たに臨床宗教師研修を5

禍だからこそ傾聴や声掛け、場づくりが求められている」と活動の大切さを伝えた。

2021年度は、龍谷大学実践真宗学研究所の臨床宗教師研修を5

研修生らは「自分のフィールドを通して話を聞いていないか、立ち止まりながら確認する」ことが大切だと気付いた」と振り返った。

## 地球貢献ができる人材に

溜 剛校長



「探究」が一貫コースのキーワードだと語る溜校長

中高一貫教育は、カリキュラムを前倒して最後の1年を受験勉強に充て、卒業時にどれだけの生徒を良い大学に進学させることができるかという出口戦略ばかりが注目されがちだ。

この大学に行きたいという思考で6年間を過ごすことが大切です」と強調する。SGZコースは高い語学力を身に付けて海外の大学に進学を目指す、ディスカバリーコースは探究型プログラムで想像力を育み、未来を切り開く能力を身に付けて、国内の難関大学に挑むことを目標としている。

「探究」が一貫コースのキーワードだと語る溜校長。探究とは、自分自身で課題を見つけて仮説を立て、様々な調査、研究を進め、結論を導き出してプレゼン

## 奥山教授が最終講義

### 明治期の仏教者を語る

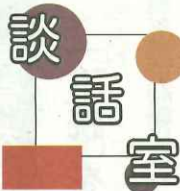


初期留学僧たちの足跡を紹介する奥山教授

3月に定年を迎え退任する高野山大学の奥山直司教授が1月25日に「椰子と雪山」の私的回顧と展望をテーマに最終講義を行い、学生や関係者ら約50人が耳を傾けた。

初期留学僧たちは廃仏毀釈からの復興が一つの使命だった。原点の探究を目的とした梵語仏典への憧れや、明治期の青年たちに通底する海外雄飛への機運が背景にあったという。講義タイトルの「椰子と雪山」には、インド洋に浮かぶスリランカから雪を頂くヒマラヤにまで及ぶ彼らの求道の旅のイメージを込めた。

「高野山大の奥山直司教授が1月25日に「椰子と雪山」の私的回顧と展望をテーマに最終講義を行い、学生や関係者ら約50人が耳を傾けた。



花園中高

(機部五月)